

「第 22 回学校運営協議会」書面会議報告（各委員からのご意見と学校からの回答）

■「学校からの報告」に関する感想・意見

①コロナウイルス、休校期間、オンライン学習に関するご意見

- ・コロナ渦の中で公立高校ではなかなか出来ていないオンライン授業を準備しすでに開始している事はすばらしいと思いました。どのように授業を進めているのか観てみたいです。
- ・Zoom 等を活用した休校中のオンライン学習は、とても素晴らしいと思います。
- ・長期間にわたる休校において、いち早く学習環境を整え、オンライン上の SHR、学習指導は休校中の規則正しい生活習慣や学習保障をするための取り組みであり、その整備された学習環境や教職員の皆さんの創意工夫ある実践に、富士市立高校の魅力を感じました。
- ・新型コロナウイルスの影響で年間計画の予定変更を余儀なくされ、その対応で大変な中を、学びをとめない工夫を学校全体でされたことがわかりました。担任の先生、各教科の先生方のご苦勞と、それを指揮する先生方のご尽力に敬意を表します。これを契機に、新たな学習の手法が生まれ定着していくのではないのでしょうか。新たな手法が生徒たちの主体的で深い学びにつながることを期待します。今回生まれた知見は財産であり、ICT 活用の先進事例になると思います。

（学校からの回答）

- ・休校期間のオンライン学習の取り組みを評価いただき、ありがとうございます。今回、多くの教員が「できることをやる」と前向きに考え、それが学校全体の取り組みへとつながっていったことは良かったと考えています。今回の経験を、第 2 波への備えとしてだけでなく、平常の授業や活動にも生かしていければと考えております。

- ・今後オンライン授業に対する環境や体制を強化していくのか？
- ・新型コロナ対応の健康チェックやオンラインでの生活改善指導、他校に先駆けて実施したオンライン学習については、生徒保護者は大変感謝していることと思います。今後もオンラインの環境整備に努めていただけますようお願いいたします。
- ・新型コロナ対策についてはご苦勞されていると思いますが、第 2 波、第 3 波による休校等が発生した場合、オンライン学習を利用せざるを得ないと思います。その際の各家庭のインターネット環境の違いという課題については解決済と考えていいでしょうか？

（学校からの回答）

- ・5 月の段階でもオンラインでの学習支援の取り組みは実施できましたが、今後のことを考えた場合、さらなるオンライン環境や体制の整備、強化を進めていくことは必要なことだと考えております。その考えから、本校では新たに「オンライン学習検討委員会」を立ち上げ、第 2 波に備えての準備を行っております。
また、各家庭のインターネット環境の違いについて、今回本校（情報管理課）で調査したところ、Wi-Fi 環境の保有率は 95.2% でした。保有をしていない家庭もある状況ですが、今回の休校期間には各携帯電話会社からの支援があったため、インターネット環境に関しての学校への問い合わせ等はありませんでした。しかしながら、今後同様の場合には、必要な支援を可能な限り行えるように、検討と準備を進めてまいります。

- ・新型コロナ問題で学校教育が困難な状況に直面する中で、オンライン授業や Zoom を活用した HR 等を工夫して実践しているらっしゃることに、先生方のご尽力が伝わってきます。各種大会が中止になったのは大変残念ですが、入試と就職の結果は、総じて良好であると受けとめました。しかし、今回の新型コロナ問題で、まず就職について厳しい事態が予想されるので、就職へのサ

ポートをぜひ頑張っていたり、思っているところでは、

- ・コロナの第二波に備え、休校中の学習だけでなく、生活習慣の乱れをどう防ぐかについても継続して考えていただきたいと思います。
- ・休校中、生徒の日常や学習生活については、気を揉んだことと思いますが、この間で生徒が自主的に取り組んだ前向きな事例があれば、ご紹介ください。

(学校からの回答)

- ・就職については、就職試験が1か月伸びたことにより、例年と違った状況や対応が求められています。現在その対応、3年生の就職支援に向けて、3年部とキャリア支援課職員を中心にあっている状況です。
- ・休校期間の影響による生活習慣の乱れについてですが、現在のところ例年と比べて欠席者が増えているといった状況は見られていません。これは生徒の努力や日頃の健康管理の成果も出ているのかと考えております。しかし、その一方で休校期間の影響による体力の低下は大きく感じるところです。特に1年生は、受験勉強に引き続く形で休校期間に入り、長く体を動かす機会がなかった生徒もいるようです。そうした生徒に対するケアにも注意しております。
- ・また、コロナウイルス下の休校期間には、親の仕事が影響を受けたことによるアルバイトの希望がいくつかの家庭からありました。そちらについては、担任が面談をし、申請いただく形で特別許可を出しております。今後もそうした相談に対応できるようにしていきます。
- ・休校期間中の生徒の前向きな事例については、すべてを把握しているわけではありませんが、教員の促しをきっかけに新聞記事をスクラップブックにまとめる学習を自主的に行った生徒がいました。他にもそうした取り組みをした生徒はいると思いますが、探究学習を行っている高校ですので、難しい状況におかれても自分で主体的に判断し、行動できる生徒を育てたいよう努めていきたいと考えております。

②総合的な学習の時間（究タイム）生徒アンケートに関するご意見

- ・アンケート集計、1年次と3年次の比較はとても興味深く拝見しました。特に、「地域や社会から必要とされている」の値がこれだけ上昇するのは、地域に根ざした活動の成果だと思えます。
- ・3年生のアンケート集計結果の数値が10%以上増加した項目が11にもものぼった点について、充実した学校生活を送れたこと、成長できたことを知り、大変喜ばしく感じました。先生方、お疲れさまでした。
- ・1年生の集計結果の33.34「社会参画」については、まだ1年生なので妥当だと思えます。この先の学びを通してどのくらいの伸び幅がでるかが楽しみです。

(学校からの回答)

- ・「究タイムについての生徒アンケート結果」に対し、評価の声をいただき、ありがとうございます。本校が取り組んでいる「探究学習」において、「究タイム」の活動がカリキュラムのイメージを方向性づける役割を担ってきました。今後も生徒の主体性や協働する姿勢、実行力や問題解決能力の育成を目指すとともに、地域に根差した高校として、社会参画に対する生徒の意識も高めていきたいと考えております。

③R1進路実績について

- ・AO等の合格者の増加は、これまでの究タイムの成果だと感じました。
- ・3年生（受験生）が不利にならないように学習の方に力を入れていただきたいです。
- ・国公立大学入学者が増えることは大変喜ばしいことと思います。ぜひ今後もドリカムスクールの重要なポイントのひとつとして、

志望校に合格できるよう支援いただきたいと思います。

(学校からの回答)

- ・総合型選抜や学校推薦型選抜に、究タイム等の探究学習で培った力が活かされることは本校にとって理想と考えていますので、そうしたところを目指して取り組んでいきたいと考えております。また、その一方で「一般選抜に対応できる学力」を育成していく必要もあるため、「学習習慣の定着」を図る指導や模擬試験の活用、「アクティブラーニング」等の授業での工夫といった取り組みに力を入れていきたいと考えております。
- ・3年生の進路実現については、ご指摘いただいたとおり「ドリカムスクールの重要なポイント」です。そのため、本校では例年「個別指導」として、全教職員が3年生のサポートに当たっております。こうした取り組みも含め、3年部とキャリア支援課を中心に、3年生の支援を行っていききたいと考えております。

■「令和2年度学校経営計画」に関する意見書

- ・生活及び学習習慣の確立のところにて平均2時間以上家庭学習を行う生徒前年比20%増とありますが、なかなか大変な目標だと思う。実際の家庭学習時間数を知りたい。もし仮に学習時間が足りない生徒がいたら、たとえどんなに疲れていてもまったくやらない日を作らない。1問でも良いからとにかく毎日机にむかう習慣づけをつけさせる。机にむかうまでが大変で問題を解き始めればおのずと学習時間も伸びると思う。
- ・学習習慣の確立については、「平均2時間以上の家庭学習を前年度比20%」でよいと思います。ただ、「平均2時間」という場合でも分散が大きいような気がしています。できるだけ0分という時間がないように、習慣化していくためにはどうすればよいか、学習習慣の確立に向けた手立ての工夫についても、ぜひ様々な方法をご検討いただきたいと思います。
- ・自宅での学習時間の確保は、これまでも課題であると感じていました。そのことへの対策として、「前年比20%増」という目標を立てているのは、評価できる点であると思います。他方、オンライン授業の場合、集中力がある生徒と集中力に欠ける生徒との差が開く懸念もあるので、後者の生徒への一層のフォローが必要ではないでしょうか。また、海外探究研修の中止はやむをえざる決定ですが、適切な決断であったと考えます。以上、若干の意見もしくは感想を申し上げましたが、全体として、「令和2年度学校経営計画」を承認させていただきます。

(学校からの回答)

・昨年度の平均学習時間の分布は次のとおりです。(人数割合%)

%	120分以上				90分以上				30分未満		
	総合	ビジ	スポ	全体	総合	ビジ	スポ	全体	総合	ビジ	スポ
1年	20	7	0	12	50	19	2	32	0	10	10
2年	51	24	0	33	75	72	27	66	4	10	25
3年	85	10	8	48	97	42	81	65	0	0	0
全体	52	15	3	31	74	45	13	54	1	7	12

平均2時間以上家庭学習を行った生徒は全体としては31.3%でしたが、半数以上の者が90分を上回っています。また、30分未満の者は1割程度ですが、毎日机に向かう習慣を身につけさせようと各教科で週ごとに課題を課し、小テストを実施しています。さらに週課題は計画的に学習できるよう事前に課題範囲と提出日を提示しております。

- ・「計画」を立てるのが難しい事態になっていますが、特に受験生にとっては、共通テストへの変更、入試日程の不安定、試験範

囲の学習が間に合うか等々、様々な不確定要素があり、不安だと思います。情報を迅速、的確に提供していただくようお願いいたします。

・新型コロナで生徒の進路選択や大学進学、就職活動等への影響が心配されていますので、今後も進路指導の充実をお願いします。

・国公立大学合格者数の増加は大変喜ばしいことです。資料の「合格先一覧」の合格者の合計欄に前年対比があると良いと感じました。

・成果目標の「進学（四大 100 名以上）及び就職内定率」はここ数年成果目標をクリアされていて、素晴らしいことです。成果目標の見直しはどうされますか。

（学校からの回答）

・3年生の進路活動については、ご指摘の通り様々な不確定要素があり、生徒や保護者の皆様も不安を抱えているかと思えます。本校ではそうした心配を理解し、迅速、的確な情報提供ができるように努めてまいります。また、進路実現に向けては3年部、キャリア支援課が中心とはなりますが、本校では個別指導という形で、これまでも全職員が3年生の進路指導に取り組んできておりますので、本年度はさらに手厚い支援ができるよう、取り組んでいきたいと思っております。

・ご指摘いただいた「合格先一覧」の前年対比や「成果目標の見直し」については、次年度の「学校経営計画」を計画する際に、前向きに検討させていただきます。

・特徴ある教育スタイルは「自律する若者」を真ん中に据えることで、目指す姿が明確になったと思えます。

・海外探究学習については、今年度は中止とのことですが、これを機に「海外探究学習で外せない要素とはなにか」を検討いただき、代替案に反映いただきたいと思います。

（学校からの回答）

・「特徴ある教育スタイル」の修正部分について、「目指す姿が明確になった」とのご感想をいただき、ありがたく思っております。「海外探究研修」については、本年度は海外での実施が難しく、代替案の検討を続けてきております。現在、総合探究科は北海道、ビジネス探究科は長崎、スポーツ探究科は石垣島での研修を2月に実施する方向で調整を進めております。なお、次年度も同様のケースが考えられるため、ご指摘いただいた「海外探究学習で外せない要素とはなにか」について、今後検討する機会を持ちたいと考えております。

・「魅力ある授業実践と授業力向上」に向けての実践で、教員研修年2回とありますが、具体的にどのような研修を行いますか。

・先生方が、生徒たちのために真剣に考え、指導してくださる姿勢が改めて分かり、協議会委員となって良かったです。保護者の皆様や各中学校の先生方にもぜひ読んでいただきたいと思います。学校ホームページに協議会の報告がありますが、今日まで閲覧したことがなかったので、もっとアピールできればと思います。

（学校からの回答）

・この期間には、教員がお互いの授業を参観し合う取り組みをしてきております。また、探究学習とアクティブラーニングに関する研修会を実施する予定です。第1回目は7月30日（木）にオンラインで講師を招き、「探究学習をめぐる教育動向と全国事例」をテーマにした研修会を実施いたします。第2回目はコロナウイルスの影響で実施できるか分かりませんが、11月の校内研修週間に合わせて、アクティブラーニングの研修を昨年度に引き続いて実施する予定です。学校ホームページならびに協議会の報告をご覧いただき、ありがとうございます。更新と広報により一層力を入れて、努めてまいります。

■その他 意見書

- ・恵まれた教育機材があり、その機材を使う事前準備など先生方は大変な苦勞をされたと思います。生徒への個別対応もされているようで、ほったらかしの生徒がいないように思います。同じ高校生を持つ親の立場として大変羨ましいです。
- ・小生の勤務する大学でもオンライン授業を続けており、授業に要する時間はその準備やフィードバックを含め従来の 2～3 倍に増加しています。高等学校でも様々な面でご苦勞が増えていると思いますが、この学校教育にとっての試練の時期をぜひ乗り切っていただくことを期待しております。
- ・多く新聞に取り上げられているので、中学生を持つ保護者や中学生に市立高校の魅力が伝わると思います。今回の休校に対する先生方の創意工夫のお姿を見て、生徒たちはどんな状況にあっても乗り越えることを学べていると思います。引き続き応援してまいりたいと思います。
- ・部活動において、陸上競技部やチアリーダー部の東海大会出場、全国大会出場をはじめ、部活動の活躍は貴校の活力の源になっていると思います。特に、貴校サッカー部の高校サッカー選手権静岡大会準優勝は、富士市民、富士市のサッカー少年に夢と希望をもたらすような活躍だったと思います。
- ・部活動は立派な成績を残し、今年もその活躍を期待していましたが、新型コロナウイルスの影響で高校 3 年間の集大成となる大会がなくなり、生徒のケアも大変だと思われます。体調に気を付けてください。代替大会があれば、HP 等で確認し、可能なら応援をさせていただきます。
- ・探究学習のうち、特に「ディベート」の授業に興味があります。機会があれば、ぜひ見学したいと思います。

(学校からの回答)

・温かいお言葉とご支援の声をいただき、深く感謝しております。日頃よりいただいております部活動に対するご声援に対して、も改めて感謝申し上げます。今後も委員の皆様のご期待に応えられるよう、取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

- ・コロナウイルスによる休校が明け、「心のアンケート」を実施していただいたようですが、子どもたちはどのような回答であったのかが気になります。心配事や不安事、本当の気持ちを表現できていない子も必ずいると思うので、長い目で観ていく必要があるのかなと思います。

(学校からの回答)

生徒へのアンケートは 2 回行いました。1 回目は休校期間中の 4 月 28 日、2 回目は学校再開時の 5 月 22 日～25 日に行いました。

① 1 回目の「不安・困りごとアンケート」はタイトル通り、不安な気持ち、困っていることを見つけることが目的でした。3 年生を中心に「勉強、部活動がこの先どうなっていくのか」、1 年生を中心に「新生活がなかなか始まらないことへの不安」といったものが目立ちました。

② 2 回目の「こころの問診票」は毎年 GW 明けに行っているアンケートです。例年、新学年として 1 ヶ月が過ぎ、長い連休を経る時に、不登校になる生徒や不調を訴える生徒が多いために実施しております。

今回のアンケートの結果を使って、面談を設定するほか、結果をもとに教育相談室としての対策、活動を計画しています。さらに週 1 回、管理職、生徒課長、学年主任、保健室、相談室が集まり、情報交換会を行っています。その場でも今回のアンケートの結果を使って話し合いを行っています。本校はスクールカウンセラーが週 2 回来校しますが、情報交換会にも参加しており、専門家からの意見もいただきながら話し合いが行われています。

オブザーバーの先生からのご回答

■「学校からの報告」に関する感想・意見

- ・探究学習の成果が、進路実績や部活動実績となって表れていると思います。これらの成果を多方面に広報していきましょう。
- ・「究タイム」のアンケート結果やアンケート項目について、大学教授等の資料分析を専門とする方に依頼することはできないでしょうか。客観的手法が見つければ、上昇傾向にあることを説明しやすくなると思われます。
- ・「究タイム」につきましては、県立学校も注目しています。昨年度は校長協会の教育課程専門委員会に所属する校長が富士市立高校を訪問し、探究的な活動である「究タイム」を視察しました。今後、他の公立高校もカリキュラム・マネジメントと総合的な探究の時間について研究していくものと思われます。自らが暮らす地域の課題を発見し、その解決を目指す学習を行っている富士市立高校の「究タイム」は先駆的な例として他校が参考にすると考えられます。

(学校からの回答)

・探究学習と「究タイム」について、ご意見と評価をいただき、ありがとうございます。今後もカリキュラム・マネジメントの意識をしっかりと持ちつつ、取り組みを続けていきたいと考えております。また、アンケート項目については、10年前から同じ項目で調査しておりますので、それを継続している状況です。今回「資料分析を専門とする方」への依頼をご提案いただき、そうした機会を持てればと思っておりますので、ぜひ前向きに検討したいと考えております。

■「令和2年度学校経営計画」に関する感想・意見

- ・「学び」による自己満足感を高めることが主体的な家庭学習時間を増やす根本だと思えます。学ぶ喜びを味わわせてやってください。それが未見の我の発見につながります。

(学校からの回答)

・「主体的な学習時間を増やすこと」は本校の課題となっております。また、教育目標に置いてありますように、本校では「未見の我の発見」を大変重視しております。それに対し、「学びによる自己満足感」や「学ぶ喜び」を大事すべきとのご指摘をいただき、学習指導の土台にあるものを改めて確認することができました。

■その他 意見書

- ・今まで静岡県内において学校運営協議会を設置している高校は、富士市立高校のみでした。静岡県教育委員会は令和元年度に学校運営協議会の導入を目指し、モデル校3校（松崎、静岡城北、天竜）において、学校運営協議会の必要な体制整備の検証を行い、令和2年度から県内8校（松崎、熱海、裾野、静岡城北、藤枝西、相良、天竜、浜松城北工業）で実施しています。今後も導入が増えていくものと考えられます。問い合わせや視察の依頼がありましたら、積極的な受入をお願い致します。

(学校からの回答)

・昨年度も静岡大学教職大学院の院生から参観の希望があり、受け入れをしております。今後も問い合わせや視察の依頼がありましたら、対応をさせていただきたいと思えます。